

# 日本とオーストラリアの学校の違い

伊藤 百香 (高校2年)

## ★・・・義務教育

日本の学校制度 幼稚園 (3年間) →卒業→★小学校 (6年間) →卒業→★中学校 (3年間) →高等学校 (3年間) →大学 (2~6年間~)	オーストラリアの学校制度 幼稚園 (3歳~5歳) と★小学校 (Year 1~6) →★中学校 (セカンダリー/Year 7~10) と高校 (シニアセカンダリー/Year 11~12) →大学
学期 (3学期制) 1学期・・・4月から7月 夏休み 2学期・・・9月から12月 冬休み 3学期・・・1月から3月 春休み ※2学期制は、秋休みが数日あるが、今は3学期制が増えてきている。	小中学の学期 1学期・・・1月下旬~4月上旬 イースター休み 2学期・・・4月下旬~6月下旬 冬休み 3学期・・・7月中旬~9月下旬 春休み 4学期・・・10月中旬~12月中旬 夏休み ※長い休みの時期は州ごとに決められている。

- ・オーストラリアは人口約2000万人 (日本の約6分の1) の国。
- ・学校の数は約1万校。そのうち約60%が公立、約30%がカトリック校、約10%がその他私立校。
- ・1クラスの生徒数は多くても25人ほど。

### ~特徴~

- ・指定された教科書はない。
- ・州ごとに教育制度がことなる。
- ・先生は生徒に考えさせる。(多文化社会のオーストラリアでは、幼いころから、自分とは異なった意見、考え方があるということを受け入れる精神はとても大切にされている。)
- ・業間の休み時間は短い、10時ごろに「モーニングティー」と呼ばれるものがあり、教室外で持ってきたお菓子を食べる。
- ・体験した中学では、45分間の授業だった。

### ~オーストラリアの外国語授業~

英語以外の言語教育を「LOTE」(Language Other Than English) と言う。移民が多いオーストラリアでは、全人口の25%がオーストラリア以外の国で生まれ、しかも英語を使わない国の出身者が増えてきているので、多文化教育、特に言語教育が重視されている。LOTEもそのひとつで、小学校から外国語が教えられている。

